



様式第5号（第6条関係）

令和 8 年 7 月 6 日

羽曳野市議会議長 様

☐ 会派名

代表者名

☒ 議員名 まりやま百合子



（ 令和 8 年度 第 1 四半期 ） 政務活動費収支報告書

羽曳野市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第1項の規定により、政務活動費の交付の対象となる政務活動費に要した収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入

交付済額 0 円

2 支出

項目	金額	政務活動費を充てた主な経費	※ 第1四半期から 第4四半期の合計金額
調査研究費			
研 修 費			
広 報 費	172,650	市政報告会場費、市政報告作成・配布	
広 聴 費			
要請、陳情活動費			
会 議 費			
資料作成費			
資料購入費			
計	172,650		

※第4四半期の実績報告を行う場合は、第1四半期から第4四半期の合計金額を記入すること。

様式第6号（第6条関係）

(令和8 年度 第 1 四半期) 政務活動費支出内訳書

☐ 会派名

經理責任者

☒ 議員名

まりやま百合子

印

項目	広 報 費		☒ 議員名	まりやま百合子
支払年月日	使 途	金 額（円）	内 訳	添付書類番号
8.3.31	会場費	1,430	4月25日市政報告会	広報－1
8.4.18	会場費	5,000	5月17日市政報告会	広報－2
8.6.29	市政報告印刷	58,300	市政報告印刷代（デザイン含む）	広報－3
8.6.29	市政報告配布	93,000	市政報告ポスティング代	広報－4
8.6.30	市政報告印刷	14,920	市政報告印刷代（5,500部）	広報－5
(小計)				
合 計		172,650		

領收書等貼付用紙

※1 ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
※補足事項があるときは、余白に記入すること。

羽曳野市立生活文化情報センター 領収書

〒 583-0871

大阪府羽曳野市野々上1丁目10-6

鞠山 百合子 様

領収番号 2025-003423-00

入金日 2026年03月31日

583-0854

羽曳野市軽里1丁目1番1号

株式会社 みのりの里

代表取締役 麻野 俊彦

TEL 072-950-5500

FAX 072-950-5501 登録番号 T3120101032539

下記のとおり領収致しました。

摘 要	金 額	備 考
2026年04月25日（土） 小会議室C 09:00-12:00	1,430	施設
小 計	1,430	

合 計 金 額

1,430 円

上記金額は消費税等を含んでいます

10%対象

消費税

1,430 円

130 円

領収書等貼付用紙

支出内容	会議費
支出額 5, 0 0 0 円 ※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 円 (按分: %) ※消耗品の場合 【使用場所の区分】 ☐ 議会棟内会派控室 ☐ 議員事務所 ☐ 議会に届け出ている事務所 ☐ その他 (所在地:) ☐ 自宅内事務所 ☐ その他 ()	
領 収 証 No. _____ 野々上百合子 様 2026 年 4 月 18 日 ★ 5,000- 但 会議館使用料 186,511 円使用 上記正に領収いたしました 内 訳 税抜金額 消費税額等(%) 野々上町会	

※ 1 ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
※ 補足事項があるときは、余白に記入すること。

様式第8号(第6条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	広報費
支出額 <u>58,300</u> 円 ※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 <u> </u> 円 (按分: %)	
※消耗品の場合 【使用場所の区分】 ☐ 議会棟内会派控室 ☐ 議員事務所 ☐ 議会に届け出ている事務所 ☐ その他 (所在地:) ☐ 自宅内事務所 ☐ その他 ()	
※デザイン料も含まれています (10,000部)	

領 収 証		No. _____
まりやま百合子様		令和8年6月29日
金額	¥ 58,300 円	
但し 市政報告チラシ印刷代 上記の金額正に領収いたしました。		
内訳	伸 亞 印 刷 〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山2-3-6 TEL (072) 934-5111 FAX (072) 934-5111 登録番号 T0616427155890	
税抜金額	¥53000-	
税率10% 消費税額	¥5300-	

※1 ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
 ※補足事項があるときは、余白に記入すること。

皆様こんにちは。

市議会議員のまりやま百合子と申します。

日頃は、私の活動にご理解、ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

雨の多い季節から日に日に暑さが厳しくなっ
てまいりましたが、地域の皆様におかれまし
ては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、5月28日より、令和8年第2回定例会
が開催され、6月16日に一般質問をさせてい
ただきました。



地域の皆様に、質疑内容をお知らせさせていただくとともに、日頃の活
動報告をさせていただきたく、公私ともに御多忙な折とは存じますが、
万障お繰り合わせの上、ご参加いただけましたら幸いです。

◆市政報告会開催予定

日時：令和8年8月29日(土)10時より

場所：野々上公民館

出席
予定
者

やまのは創（羽曳野市長）

にしもと宗一（大阪府議会議員）

あおやぎ仁士（大阪14区衆議院議員）

まりやま百合子（市議会議員）

過去の市政報告会の内容
をご覧ください▼



※出席者は変更になる可能性があります。

※野々上公民館には来場者用の駐車場はありません。恐れ入りますが徒歩・自転車
もしくは公共交通機関でお越しくださいますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ

まりやま百合子事務所

羽曳野市野々上1丁目10-6

TEL.070-8593-4826



facebook



Instagram



YouTube



X

令和8年第2回定例会／一般質問

1. 歴史文化遺産の保存と新たな財源確保について

《質問》

第7次羽曳野市総合基本計画における歴史文化遺産の保存・継承について質問しました。「見る文化財」から市民・歴史ファンが支える文化財」への転換を図るため、クラウドファンディングの今後の活用方針と、集まった資金の運用・使途管理についてお伺いしました。

《答弁》

今後も価値ある文化財へのクラウドファンディングを積極活用する。余剰金はふるさと基金に積立て、峰塚公園歴史展示室の改修に充当し、次世代へ継承する。

《質問》

ふるさと納税とは別に世界遺産の保存に活用できる「もずふる応援寄附金」はホームページ上での視認性が低く、納付書・郵便為替中心の決済方法はハードルが高いと感じます。文化財継承の観点から、寄附ページへのQRコード・バナー設置など、認知度向上とデジタル化の取組みについてお聞きしました。

《答弁》

ホームページ表示は関係部署と調整し、デジタル決済導入は課題を踏まえ研究する。

《要望》

峯ヶ塚古墳の石見型木製はにわのクラウドファンディングの例にあるように、熱意ある発信と手軽な支援環境があれば全国から支援が集まることは証明済みであると思います。今後もクラウドファンディングや体験型返礼品の開発など、支える文化財への転換に向けた前向きな検討を要望しました。

2. 公共施設循環福祉バスと公用車の広告掲載について

《質問》

公用車・福祉バスを活用した広告事業は地域密着型媒体として高いポテンシャルを持っていますが、募集枠の空きが目立っています。現在の広告募集枠の空き状況と申込方法・手続の流れ・受付期間についてお伺いしました。

《答弁》

福祉バス15枠中10枠、公用車20枠は全空きであり、随時募集中である。

《質問》

広告が集まらない要因は周知不足と手続の煩雑さではないでしょうか。商工会等ターゲットへの直接アプローチ強化と、申請手続のオンライン化による利用促進は可能か尋ねました。

《答弁》

広報誌・ウェブ・商工会を通じた周知強化を図り、オンライン申請はDX化の中で研究する。

《要望》

公用車・福祉バスの広告制度は届くべき人に届いていないことが課題であると感じています。チラシ・公式LINEでの積極的な告知、オンライン申請・書類簡素化、スポット掲載や複数台割引など、メニューの多様化を要望しました。

3. 主体性を育む教育について

《質問》

子どもの意見表明権が重視される時代において、日本の教育は主体性を阻む土壌があると感じています。羽曳野市の小・中・義務教育学校においては、子どもの主体性を育む教育としてどのような取組みをされているかお聞きしました。

《答弁》

各校において生徒が校則見直しに参画し、自販機設置・利用ルールも生徒会が主体的に策定するなど、意見表明権を尊重した主体性育成に取り組んでいる。

《質問》

現在AIドリルを活用するなど、個別最適化な学習環境の整備が進められていますが、その中で子どもが主体的に学ぶ姿勢を育む工夫をお伺いしました。

《答弁》

小学校では学び方を自ら選ぶ探究学習、中学校では習熟度に応じた課題選択を導入し、AIドリルも個別最適化に活用している。指導主事の循環指導で優れた実践を市全体へ波及させ、自ら学びを切り開く力を育てている。

《要望》

大人が敷くレールの上を進む教育は、子どもの意思決定の機会を奪うと考えています。関西万博での体験のように、興味や関心、好奇心を主体的な学びへとつなげ、自ら問いを立て解決する力を育む教育の継続を期待しています。

4. AIが普及した現代における情報取捨選択能力・論理思考力の醸成と、公共図書館の役割について

《質問》

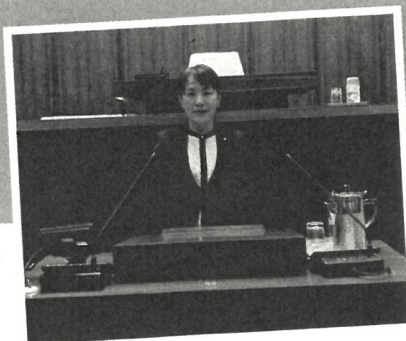
生成AI時代に情報リテラシーの重要性が増す中、読書は論理的思考力の根幹であると考えます。市民の読書意欲を高める図書館の創意工夫の取組と、中央図書館の開架・閉架・電子書籍の蔵書状況をお聞きしました。

《答弁》

季節イベント・おはなし会・読書記録手帖など多彩な取組で読書意欲向上を図っている。中央図書館の蔵書は約26万3,000冊（開架約8万7,000冊、閉架約17万6,000冊）、電子書籍は約1万1,825コンテンツである。

《要望》

AI時代だからこそ正しい情報を選び取る力をつけるための図書館の役割は高まっていると考えています。全世代向けの読書機会の創出・利用促進の加速と、計画的な蔵書管理のスリム化および電子書籍コンテンツ拡充による利便性向上を要望しました。



一般質問の詳細は
羽曳野市議会映像
配信をご覧ください

議会活動のほか、様々な地域のお声にも対応させていただいております。

●道路の排水・危険箇所・カーブミラー要望

●精神保健相談・福祉制度相談・補聴器購入補助についてなど

ぜひ皆様のお声をお寄せください！

様式第 8 号(第 6 条関係)

領収書等貼付用紙

支出内容	広報費
支出額 93,000 円 ※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 円 (按分: %)	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 ☐ 議会棟内会派控室 ☐ 議員事務所 ☐ 議会に届け出ている事務所 ☐ その他 (所在地:) ☐ 自宅内事務所 ☐ その他 ()
※ 市政報告ポスティング代として 領 収 証 利や子白合子 様 2026 年 6 月 21 日 ★ 93,000 円 但 ポスティング 15500 枚と記 上記正に領収いたしました 内 訳 税率 金額(税抜税込) 84545 毎日新聞 藤井寺 羽曳野市野々上 5-2-4 8455 毎日新聞 藤井寺北 羽曳野市島泉 9-14-2 税 200円 登録番号: T6810724230586 所長 原田 智 功 登録番号	

※ 1 ページに複数枚の貼り付け可。ただし、重ならないように貼り付けること。
 ※ 補足事項があるときは、余白に記入すること。

領收書等貼付用紙

支出内容	広報費
支出額 _____ 14,920 __円 ※按分する場合 支出額のうち政務活動費として計上する額 _____ 円 (按分： %)	※消耗品の場合 【使用場所の区分】 ☐ 議会棟内会派控室 ☐ 議員事務所 ☐ 議会に届け出ている事務所 ☐ その他 (所在地：) ☐ 自宅内事務所 ☐ その他 ()

※補足事項があるときは、余白に記入すること。

領収書

2026年03月27日

鞠山百合子 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

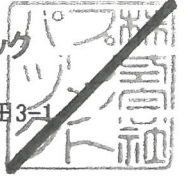
株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3丁目

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890



お支払条件 銀行振込(前払い)

納品場所 ご指定場所

御請求金額 41,200円 (税込)

納品期日 4営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC47390141	品名：市政報告会チラシ A4 / 両面4色 / コート90 / 17,000部×1種類 / 加工1：二つ折り 加工2：	1	41,200	41,200
合 計				41,200

特記事項

金融機関の振込証明書および振込完了画面のプリントアウトが、税務署で認められている正式な払い込みの証明書類となります。
こちらの領収書が精算等にご使用いただけますかどうかは、お客様ご自身であらかじめご確認いただきますようお願い申し上げます。

皆様こんにちは。

市議会議員のまりやま百合子と申します。

日頃は、私の活動にご理解、ご協力を賜り、
厚く御礼申し上げます。

雨の多い季節から日に日に暑さが厳しくなっ
てまいりましたが、地域の皆様におかれまし
ては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、5月28日より、令和8年第2回定例会
が開催され、6月16日に一般質問をさせてい
ただきました。

地域の皆様に、質疑内容をお知らせさせていただくとともに、日頃の活
動報告をさせていただきたく、公私ともに御多忙な折とは存じますが、
万障お繰り合わせの上、ご参加いただけましたら幸いです。



◆市政報告会開催予定

日時：令和8年8月29日(土)10時より

場所：野々上公民館

出席
予定
者

やまのは創（羽曳野市長）

にしもと宗一（大阪府議会議員）

あおやぎ仁土（大阪14区衆議院議員）

まりやま百合子（市議会議員）

過去の市政報告会の内容
をご覧ください▼



※出席者は変更になる可能性があります。

※野々上公民館には来場者用の駐車場はありません。恐れ入りますが徒歩・自転車
もしくは公共交通機関でお越しくださいますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ

まりやま百合子事務所

羽曳野市野々上1丁目10-6

TEL 070-8593-4826



facebook



Instagram



YouTube



X

1. 歴史文化遺産の保存と新たな財源確保について

《質問》

第7次羽曳野市総合基本計画における歴史文化遺産の保存・継承について質問しました。「見る文化財」から市民・歴史ファンが支える文化財への転換を図るため、クラウドファンディングの今後の活用方針と、集まった資金の運用・使途管理についてお伺いしました。

《答弁》

今後も価値ある文化財へのクラウドファンディングを積極活用する。余剰金はふるさと基金に積立て、峰塚公園歴史展示室の改修に充当し、次世代へ継承する。

《質問》

ふるさと納税とは別に世界遺産の保存に活用できる「もずふる応援寄附金」はホームページ上での視認性が低く、納付書・郵便為替中心の決済方法はハードルが高いと感じます。文化財継承の観点から、寄附ページへのQRコード・バナー設置など、認知度向上とデジタル化の取り組みについてお聞きしました。

《答弁》

ホームページ表示は関係部署と調整し、デジタル決済導入は課題を踏まえ研究する。

《要望》

峯ヶ塚古墳の石見型木製はにわのクラウドファンディングの例にあるように、熱意ある発信と手軽な支援環境があれば全国から支援が集まることは証明済みであると思います。今後もクラウドファンディングや体験型返礼品の開発など、支える文化財への転換に向けた前向きな検討を要望しました。

2. 公共施設循環福祉バスと公用車の広告掲載について

《質問》

公用車・福祉バスを活用した広告事業は地域密着型媒体として高いポテンシャルを持っていますが、募集枠の空きが目立っています。現在の広告募集枠の空き状況と申込方法・手続の流れ・受付期間についてお伺いしました。

《答弁》

福祉バス15枠中10枠、公用車20枠は全空きであり、随時募集中である。

《質問》

広告が集まらない要因は周知不足と手続の煩雑さではないでしょうか。商工会等ターゲットへの直接アプローチ強化と、申請手続のオンライン化による利用促進は可能か尋ねました。

《答弁》

広報誌・ウェブ・商工会を通じた周知強化を図り、オンライン申請はDX化の中で研究する。

《要望》

公用車・福祉バスの広告制度は届くべき人に届いていないことが課題であると感じています。チラシ・公式LINEでの積極的な告知、オンライン申請・書類簡素化、スポット掲載や複数台割引など、メニューの多様化を要望しました。

3. 主体性を育む教育について

《質問》

子どもの意見表明権が重視される時代において、日本の教育は主体性を阻む土壌があると感じています。羽曳野市の小・中・義務教育学校においては、子どもの主体性を育む教育としてどのような取り組みをされているかお聞きしました。

《答弁》

各校において生徒が校則見直しに参画し、自販機設置・利用ルールも生徒会が主体的に策定するなど、意見表明権を尊重した主体性育成に取り組んでいる。

《質問》

現在 AIドリルを活用するなど、個別最適化な学習環境の整備が進められていますが、その中で子どもが主体的に学ぶ姿勢を育む工夫をお伺いしました。

《答弁》

小学校では学び方を自ら選ぶ探究学習、中学校では習熟度に応じた課題選択を導入し、AIドリルも個別最適化に活用している。指導主事の循環指導で優れた実践を市全体へ波及させ、自ら学びを切り開く力を育てている。

《要望》

大人が敷くレールの上を進む教育は、子どもの意思決定の機会を奪うと考えています。関西万博での体験のように、興味や関心、好奇心を主体的な学びへとつなげ、自ら問いを立て解決する力を育む教育の継続を期待しています。

4. AI が普及した現代における情報取捨選択能力・論理思考力の醸成と、公共図書館の役割について

《質問》

生成 AI 時代に情報リテラシーの重要性が増す中、読書は論理的思考力の根幹であると考えます。市民の読書意欲を高める図書館の創意工夫の取組と、中央図書館の開架・閉架・電子書籍の蔵書状況をお聞きしました。

《答弁》

季節イベント・おはなし会・読書記録手帖など多彩な取組で読書意欲向上を図っている。中央図書館の蔵書は約 26 万 3,000 冊（開架約 8 万 7,000 冊、閉架約 17 万 6,000 冊）、電子書籍は約 1 万 1,825 コンテンツである。

《要望》

AI 時代だからこそ正しい情報を選び取る力をつけるための図書館の役割は高まっていると考えています。全世代向けの読書機会の創出・利用促進の加速と、計画的な蔵書管理のスリム化および電子書籍コンテンツ拡充による利便性向上を要望しました。



一般質問の詳細は
羽曳野市議会映像
配信をご覧ください

議会活動のほか、様々な地域のお声にも対応させていただいております。

●道路の排水・危険箇所・カーブミラー要望

●精神保健相談・福祉制度相談・補聴器購入補助についてなど
ぜひ皆様のお声をお寄せください！